

平成27年度 外国人留学生のための東京藝術大学大学院 音楽研究科（修士課程）学生募集要項

1. 東京藝術大学大学院音楽研究科の教育理念等

東京藝術大学大学院音楽研究科は、高度に専門的かつ広範な視野に立ち、音楽についての深遠な学識と技術を授けること、音楽に関わる各分野における創造、表現、研究又は音楽に関する職業等に必要な優れた能力を養うこと、さらには自立して創作、研究活動を行うに必要な高い能力を備えた教育研究者の養成を目的としている。

修士課程志願者には、出願する研究分野に関しての豊富な知見、高度の技術と卓越した研究能力、幅広い視野や興味・関心、柔軟な感性、独創的な構想力、論理的な思考力、強い意志が求められている。

2. 出願資格

出願できる者は、外国の国籍を有し、「平成27年度東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）学生募集要項」1頁に記載の「Ⅲ 出願資格」に該当する者で、かつ、下記の（1）または（2）に該当するもの

（1）国費外国人研究留学生であって、かつ6ヶ月以上国費外国人研究留学生として本学に在学していた者

（2）下記の①および②の条件を満たしている者

① 大学を卒業した者（平成27年3月卒業見込の者を含む）もしくは大学を卒業していないが、それと同等以上の学力があると認められる者で、出願する下記3. の専攻・研究分野の専攻者またはそれと同等以上の能力があると認められるもの

② 本学大学院の講義および演習を十分に理解できる程度の日本語の能力があると認められる者

※ 上記出願資格（2）①の下線部分に該当する者（大学を卒業していない者）は、事前に出願資格審査を受ける必要があるため、至急音楽学部教務係に必要書類を請求し、次の提出期間までに提出すること。

提出期間：平成26年11月26日（水）から平成26年12月1日（月）まで

提出先及び問合せ先：音楽学部教務係 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 TEL 050-5525-2309

3. 募集する専攻・研究分野および募集人員

専攻	研究分野	募集人員
作曲	作曲	各若干名
声乐	独唱・オペラ	
器楽	ピアノ・オルガン・弦楽・管打楽・室内楽・古楽	
指揮	指揮	
邦楽	三味線音楽・箏曲・尺八・能楽・能楽囃子・邦楽囃子・日本舞踊	
音楽文化学	音楽学・音楽教育・応用音楽学・音楽文芸・音楽音響創造・芸術環境創造	

4. 標準修業年限 2年

5. 選抜方法 試験科目の成績、および提出された書類等の各資料を総合して判定する。

6. 試験科目 後掲「試験内容および課題曲等」を参照すること。
※過去2年分の入試問題は、音楽学部教務係に請求できる。
(音楽学研究分野については、楽理科研究室でも閲覧できる。)

7. 試験日

平成27年2月 9日(月) 【オルガン研究分野】レジスタータイム

平成27年2月10日(火) 【作曲専攻】

平成27年2月12日(木) 【指揮専攻、邦楽専攻、オルガン・管打楽・古楽の各研究分野】

平成27年2月13日(金) 【声楽専攻、ピアノ・弦楽・室内楽・音楽学・音楽教育(※)・
応用音楽学・音楽文芸・音楽音響創造・芸術環境創造の各研究分野】

(※) 音楽教育研究分野志願者の「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」は、
その楽器等または音楽学を主専攻とする者の「実技または筆記試験日」と同一
の日に実施する。

- (注) ① 試験に関する諸事項(日程・科目・集合時刻等)および合格者発表は、掲示及び本学ホームページにより行う。
② 上記の試験日程は、出願者の状況によって変更する場合がありますので、必ず受験者本人が以下に示す日程掲示日に確認すること。

日程掲示日(全専攻) : 平成27年2月2日(月) 16時以降
ホームページは掲示1時間後(17時以降)掲載予定

8. 出願手続

(1) 願書受付期間

平成27年1月5日(月)から9日(金)の期間内に、大学(音楽学部教務係)へ直接持参したものを受け付ける。受付時間は、9:00~12:30 及び 13:30~16:30 とする。代理人持参による出願も認めるが、その際志願者は代理人に、出願手続を委任する旨の「委任状」を託すること。なお、上記の期間外のものはいかなる理由があっても受け付けない。

願書提出(持参)先
東京都台東区上野公園1-2-8 東京藝術大学音楽学部教務係 TEL 050-5525-2309

(2) 検定料

① 金額: 30,000円

(注) 現在、国費外国人留学生は、検定料納入不要。

② 振込期間: 平成27年1月5日(月)~9日(金)

③ 納入方法：

検定料は、銀行振込による納入とする。ただし、それが困難な場合に限り現金〔日本国通貨〕での納入も認める。

1. 日本国内の金融機関から振り込む場合

- (1) 検定料納入は、本冊子に添付されている「平成27年度外国人修士 検定料振込依頼書（A・B・C票）」を使用して、銀行振込により行うこと。なお、B票は志願者控えとし、C票は、本冊子に添付されている「平成27年度大学院音楽研究科（修士課程）入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙〈外国人修士用〉」に糊付け添付し、願書とともに提出すること。
- (2) 「振込依頼書」による払い込みは、全国銀行（都市銀行・信託銀行・地方銀行）、農林中金、商工中金、信用金庫、信用組合、農業協同組合、労働金庫等で取り扱っている。なお、金融公庫での払い込みはできないので注意すること。
- (3) 三井住友銀行本・支店で振り込む場合は、振込手数料はかからない。
- (4) ゆうちょ銀行（郵便局）での振込はゆうちょ銀行の口座からのみ可能である。詳しくは振込を依頼する店舗に問い合わせること。
- (5) ATMでの振り込みによる検定料納入は受け付けない。

2. 外国の金融機関から送金する場合

- (1) 志願者が外国から送金する場合は、下記の要領に従って送金すること。
- (2) 送金にかかる各種手数料はすべて志願者が支払うこと。
- (3) 万が一入金額に不足が生じた場合、出願を受理することはできないので注意すること。
- (4) 振り込み後、「外国送金依頼書（送金銀行の受領印またはサイン入り）」の写しを本冊子に添付されている「平成27年度大学院音楽研究科（修士課程）入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に糊付け添付し、願書とともに提出すること。

送金種類(Type of remittance)	電信送金(Telegraphic transfer)
通貨(Currency)	日本円(Japanese Yen)
支払方法(Method of payment)	通知払(Advice and pay)
円為替手数料(Yen exchange charge)	依頼人負担(Due remitter)
被仕向送金手数料(Remittance charge)	依頼人負担(Due remitter)
送金目的(Purpose of payment)	検定料(Screening fee)
銀行名(Paying bank)	三井住友銀行(Sumitomo Mitsui Banking Corporation)
支店名(Branch)	東京公務部(Tokyo Koumubu Branch)
スウィフトコード(SWIFT CODE)	SMBCJPJT
銀行住所(Bank Address)	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-12 1-6-12 Toranomon, Minato-ku, Tokyo Japan
受取人口座番号(Account number)	普通預金151793 (A/C 151793)
受取人(Account name)	国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口 (Tokyo University of the Arts)
住所(Address)	〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 (12-8 Ueno-park, Taito-ku, Tokyo Japan)
連絡事項(Message to payee)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 志願者の氏名 (Name of applicant) ・ 受験専攻、研究分野 (Name of the department which you are applying)

④ 検定料の返還について

次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の検定料は返還しない。

1. 検定料の返還請求ができる場合

- ア. 検定料を払い込んだが、願書を提出しなかった、または願書が受理されなかった場合
- イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

2. 返還請求の方法

便せん等を使って、次の(1)～(7)の項目について記入した「**検定料返還請求願**」を作成しC票（「東京藝術大学」入学試験 検定料振込金受付証明書）を添付して、東京藝術大学会計課経理係（〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8）へ郵送する。

■「**検定料返還請求願**」に記載すべき事項：

- (1)氏名 (2)住所 (3)電話番号 (4)受験予定の専攻・研究分野 (5)金額
- (6)返還請求の理由
- (7)振込先の銀行名、支店名、普通口座または当座口座の別、口座名義(カカナ)、口座番号

- (注) 1. 志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合には必ず、その旨を書いた委任状を「検定料返還請求願」と一緒に郵送すること。
2. 振込金額は、振込手数料を差し引いた金額となる。

(3) 提出書類

書 類	用 紙 等	注 意 事 項
① 入学願書	本学所定の用紙	「受験時の連絡先」欄の余白に国籍を記入すること。
② 「東京藝術大学」入学試験 検定料振込金受付証明書 (C票) または 検定料30,000円(現金)	本冊子添付の用紙	検定料30,000円を銀行振込により納入したのち、振込先から受領する『「東京藝術大学」入学試験検定料振込金受付証明書(C票)』を、本冊子に添付されている「平成27年度大学院音楽研究科(修士課程)入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙(外国人修士用)」に糊付添付すること。なお、検定料振込依頼書は本冊子添付の用紙(外国人留学生用の用紙)を使用する。
③ 写真(4cm×3cm)		出願前3ヶ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽の写真を 写真票(本学所定の用紙) に貼る。
④ 切手		受験票(本学所定の用紙) の裏面は「返信用郵便はがき」である。受験者自身が、自己の住所・氏名・郵便番号を明記し、切手(郵送先が日本国内の場合は52円切手(速達の場合は332円切手)、日本国外の場合は70円切手)を貼ること。
⑤ 成績証明書	様 式 任 意	出身大学長または学部長が証明したもの。なお、日本語以外で記載されている場合は、日本語訳を添付する。
⑥ 卒業(卒業見込)証明書 (又は卒業証書の写し)	様 式 任 意	出身大学長または学部長が証明したもの。なお、日本語以外で記載されている場合は、日本語訳を添付する。
⑦ 受験曲目提出用紙	本学所定の用紙	提出は、以下のとおり。 ○器楽専攻(管打楽・室内楽・古楽)、邦楽専攻(尺八・能楽囃子)志願者 ○音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を「器楽(管打楽・室内楽・古楽)」、「邦楽(尺八・能楽囃子)」で受験する者

書 類	用 紙 等	注 意 事 項
⑦ 受験曲目提出用紙	本冊子添付の用紙	提出は、以下のとおり。 ○声楽専攻、器楽専攻(ピアノ・オルガン・弦楽)志願者 ○音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を「声楽」、「器楽(ピアノ・オルガン・弦楽)」で受験する者
⑧ 志望理由書	本学所定の用紙	提出は、邦楽専攻志願者。
	本冊子添付の用紙	提出は、器楽専攻(弦楽)志願者。
⑨ 実技担当教員希望届(声楽専攻)	本冊子添付の用紙	提出は、声楽専攻志願者、音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を「声楽」で受験する者。
⑩ 入学書類送付用宛名ラベルシール	本学所定の用紙	最終合格者への書類送付時に使用するラベル。必ず志願者本人に書類が届く宛先(日本国内に限る。海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。)を記入する。
⑪ 国費外国人留学生在籍証明書	様 式 任 意	国費外国人留学生は、在籍する大学に対し、その身分を証明する書面の発行を依頼し、本学に提出する。
⑫ 住民票等	様 式 任 意	日本国内に在住している外国人は、市区町村役所で発行された住民票の写しを提出する。国外から出願する場合は、旅券を教務係窓口にて提示すること。 ただし、代理人持参による出願の場合には、志願者の旅券のコピーを提出する。
<p>(注意事項) ○ 表中「本学所定の用紙」とは、「『平成27年度東京藝術大学大学院音楽研究科(修士課程)学生募集要項』(黄色の冊子)中にある用紙」を指す。</p> <p>○ 表中「本冊子添付の用紙」とは、「本冊子13ページ以降に添付されている用紙」を指す。</p> <p>○ 「本学所定の用紙」および「本冊子添付の用紙」は、すべて日本語で記入すること。</p> <p>○ 提出書類の受付後は、いかなる理由があっても、書類の変更及び返却はできない。</p> <p>○ 上記提出書類の受理確認後、志願者宛に受験票を郵送する。</p>		

9. 合格者発表

第1次合格者発表(指揮専攻)：平成27年2月2日(月)16時以降音楽学部掲示板及び本学ホームページにおいて発表する。(ホームページは掲示1時間後掲載予定)

最終合格者発表(全専攻)：平成27年2月20日(金)14時以降音楽学部掲示板及び本学ホームページにおいて発表する。(ホームページは掲示1時間後掲載予定)

最終合格者には、平成27年2月23日(月)(予定)に入学書類送付用宛名ラベルシールを願書と一緒に必ず提出すること。

※宛名は日本国内に限るため、海外在住者は日本国内の代理人を指定すること。

※合格したにもかかわらず入学書類が平成27年2月27日(金)までに到着しない場合には、音楽学部教務係に連絡すること。

10. 入学料・授業料（国費外国人留学生である者は、納入不要。）

（1）入学料 282,000円（予定額）

（2）授業料 前期分 267,900円（年額 535,800円）（予定額）

（注）○在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用される。

○授業料については、前期分又は年額（前期分及び後期分）のいずれかで納付することができる。

11. その他

（1） 受験の際は、「平成27年度東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）学生募集要項」（黄色の冊子）表紙裏面「受験上の注意事項（2）～（13）」に従うこと。

（2）奨学金支給期間について

現在、国費外国人留学生である者が本学大学院音楽研究科（修士課程）に入学し、その在学中に奨学金支給期間が満了した場合、すべての者に対して支給期間の延長が認められるとは限らない。成績優秀者が所定の選考を経たのち、支給期間の延長が認められるにすぎないので十分注意すること。なお、その他の奨学金に関する詳細は、音楽学部教務係に照会すること。

12. 試験内容および課題曲等

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
作曲	作曲	<p>(イ) 作品審査 平成27年度東京藝術大学大学院音楽研究科(修士課程)学生募集要項の指示に従うこと。(作品提出期限:平成27年1月30日〔金〕正午)</p> <p>(ロ) 口述試問 日本語で、上記作品の内容や作曲に関する口述試問を行う。</p>
声楽	ソプラノ (S) メゾソプラノ (Ms) アルト (A) テノール (T) バリトン (Br) バス (B)	<p>声楽専攻志願者の入学試験は、研究分野「独唱」・「オペラ」の区別なく行っている。研究分野「オペラ」を希望する者には、平成27年2月13日(金)、専攻実技試験の後「オペラ適性検査」を実施し選考する。なお、詳細については、本冊子添付の「オペラ適性検査に関する伝達事項について(通知)」を参照すること。なお、平成27年2月2日(月)発表予定の掲示も留意すること。</p> <p>① 歌唱実技試験</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受験演奏曲について、志願者は下記の選択群(A, B, C)の3つの分野から各2曲、計6曲を任意に選び、出願時にその曲目を提出する。受験曲目提出用紙の記入の際には、選択群を間違えないこと。 2. 歌唱実技試験は、提出された課題曲A, B, C各2曲ずつから本学がそれぞれ1曲ずつ指定するので、その指定された3曲を暗譜で演奏する。演奏順は自由。 ※演奏曲の指定は、受験曲目提出用紙に印刷されたイロハニホへの記号で指定するので、その写しを当日持参すること。 3. 実技試験の制限時間は3曲で9分以内(曲間も含む)とする。それを超える事が見込まれる場合は、志願者が各曲に適宜カットを加え、時間配分することを許す。演奏が制限時間を超える場合は演奏中断の合図をするが、評価上不利になるものではない。(2曲以下の演奏は失格となるので注意すること。) 4. 歌唱実技試験の演奏においてはピアノ伴奏とし、伴奏者は志願者が同伴すること。 5. オペラ、オラトリオ等のアリアにおいては原調・原語で演奏しなければならない。 但し、慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない。(疑問がある場合は、本学教務係に曲目提出前に問い合わせ、確認を取ること。)これに対し、歌曲の演奏においては原語で演奏しなければならないが、移調は自由である。 <p>【選択群】</p> <p>A群: モーツァルト以降の作曲家(モーツァルトを含む)によるオペラ作品の独唱曲(コンサート・アリア含む)</p> <p>B群: オラトリオ、ミサ曲、カンタータ等の宗教曲独奏曲。バロックオペラ、世俗カンタータ、マドリガーレ等の世俗的独唱曲</p> <p>C群: 歌曲</p> <p>② 初見視唱</p> <p>③ ピアノ演奏(自由曲1曲 [暗譜でなくても良い。]) (例:ハイドン、モーツァルト、ベートーベン等の作曲家によるピアノ曲(ソナタ・ソナティネ程度)から任意の楽章。)</p> <p>④ 小論文(当日出題するテーマについて、日本語で書くこと。)</p> <p>⑤ 面接</p>

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
器 楽	古 楽	<p>(イ) 実技試験 平成27年度東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）学生募集要項に記載された試験曲より志願者の専攻する分野による。</p> <p>(ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問。</p>
指 揮	指 揮	<p>(イ) DVD審査 願書提出時に受験者本人の指揮による下記課題曲を録画・録音したDVD-Rを提出すること。</p> <p>課題曲 L. v. Beethoven : Egmont Overture, Op. 84</p> <p>※指揮者が受験者本人であることを確認出来るようにすること。なお演奏はオーケストラによるものでもピアノ2台によるものでも可とする。 DVD-RはNTSCまたはPALシステムによるものとし、DVD-Rに受験者氏名及び収録日時を明記すること。 審査後、DVD-Rは返却しない。</p> <p>(ロ) 実技試験 J. Brahms : Symphonie Nr. 1 Op. 68 及び Symphonie Nr. 2 Op. 73</p> <p>(ハ) ピアノ L. v. Beethoven : Piano Sonata Nr. 8 c-moll Op. 13 "Pathétique"</p> <p>(二) 音楽一般に関する試問</p>
邦 楽	三味線音楽 箏曲 尺八 能楽 能楽囃子 邦楽囃子 日本舞踊	<p>(イ) 実技試験 平成27年度東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）学生募集要項に記載された試験曲より志願者の専攻する分野による。 ただし、箏曲山田流に関しては、三絃・歌の試験は行わない。</p> <p>(ロ) 面接 日本語で、邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
音楽文化学	音楽学	<p>(イ) 専攻論文 志願者各自の音楽学研究分野に関する簡単な論文で、主に修士課程における研究計画をすべて日本語で書くこと。(所要時間2時間)</p> <p>(ロ) 音楽学 音楽学の基礎的な知識に関する筆記試験。</p> <p>(ハ) 口述試問 日本語で、音楽学を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>
	音楽教育	<p>(イ) 専攻論文 志願者各自の音楽教育研究分野に関する簡単な論文で、主に修士課程における研究計画をすべて日本語で書くこと。(所要時間2時間)</p> <p>(ロ) 楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験【①～⑤のうち1つを選択し受験する】</p> <p>① 作曲を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『作曲専攻における「試験内容および試験曲等」』と同様とする。</p> <p>② 声楽を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『声楽専攻における「試験内容および試験曲等」のうち、「①歌唱実技試験」のみ』とする。</p> <p>③ 器楽を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『器楽専攻における「試験内容および試験曲等」』と同様とする。なお、ピアノで受験する者の試験課題は、次の通りとする。</p> <div data-bbox="608 958 1442 1227" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>下記 (A) 及び (B) を演奏すること。 (A) ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタより任意の1曲(全楽章) (B) ショパン：練習曲(0p. 10、または0p. 25)より任意の1曲</p> <p>(注) 1. 演奏はすべて暗譜とすること。 2. 当日、時間の都合により一部省略させることがある。</p> </div> <p>④ 邦楽を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『邦楽専攻における「試験内容および試験曲等」』と同様とする。</p> <p>⑤ 音楽学を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『音楽学研究分野における「試験内容および試験曲等」のうち、「(ロ)音楽学」のみ』とする。</p> <p>(ハ) 口述試問 日本語で、音楽教育を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>
	応用音楽学	<p>(イ) 専攻論文 志願者各自の応用音楽学研究分野に関する簡単な論文で、主に修士課程における研究計画をすべて日本語で書くこと。(所要時間2時間)</p> <p>(ロ) 口述試問 日本語で、応用音楽学を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
音 楽 文 化 学	音楽文芸	<p>(イ) 専攻論文 志願者各自の音楽文芸研究分野に関する簡単な論文で、主に修士課程における研究計画をすべて日本語で書くこと。(所要時間2時間)</p> <p>(ロ) 口述試問 日本語で、音楽文芸を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p>
	音楽音響創造	<p>(イ) 専攻論文 志願者各自の音楽音響創造に関する簡単な論文で、主に志望理由と修士課程における研究計画を日本語で書くこと。(試験時間2時間)</p> <p>(ロ) 口述試問 音楽音響創造において専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。</p> <p>※ 受験者全員願書提出時に「作品あるいは論考」を提出すること。</p> <p>● 「作品あるいは論考」について 下記(1)、(2)、(3)のいずれかを提出すること。(返却しない)</p> <p>(1) 音楽作品の制作技法を評価の対象として希望する場合 自作品2～3点(*)とそれぞれの解説。自作品として提出できるのは、録音物、楽譜、あるいはその両方とする。解説は、1作品につきA4用紙4枚以内、公開された作品の場合は、公開の年月日、場所、演奏者や機材のシステムなどのデータを記入すること。</p> <p>(2) 録音技術を評価の対象として希望する場合 既存の曲(オリジナル作品も可)を自ら録音した作品(5～10分程度)1～2点(*)と、それについての日本語による解説。(1作品につきA4用紙4枚以内。録音、ミキシングに関する詳しいデータを記入すること。)</p> <p>(3) 音楽や音響の研究を評価の対象として希望する場合 音楽・音響に関する日本語による論考(本文4000字程度、形式は自由)</p> <p>(*) 音のみの作品の場合はCD-R、DVD-Rで、映像をとまなう場合はDVD-R Blu-rayで提出する。また、再生にあたって特別な注意を要するときには、それについても解説に記入すること。作品(メディア)と楽譜または解説は、各作品ごとに氏名と題名を書いた封筒に入れること。</p>
	芸術環境創造	<p>(イ) 専攻論文 志願者各自の芸術環境創造に関する簡単な論文で、主に志望理由と修士課程における研究計画を日本語で書くこと。(試験時間2時間)</p> <p>(ロ) 口述試問 芸術環境創造において専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。</p> <p>※ 受験者全員願書提出時に「研究成果、活動歴を示すもの」を提出すること。</p> <p>● 「研究成果、活動歴を示すもの」【活動履歴書(日本語あるいは英語)、作品(映像、戯曲、批評)1～2点、作品の記録(コンサート、展覧会、パフォーマンス、舞台作品の記録など)】 * 「作品」および「作品の記録」には400字以内の概要【日本語あるいは英語】を添付のこと。 * 音楽作品は、CD-Rで、映像作品はDVD-R、Blu-rayで提出する。 * 戯曲、批評は形式を問わない。</p>

個人情報取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）により、本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用します。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- (1) 上記1.(1)～(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ① 音楽教育振興会（音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ② 杜の会（美術学部同窓会）
 - ③ 同声会（音楽学部同窓会）
 - ④ 東京芸術大学生生活協同組合

(ふりがな) 氏 名

平成27年度
 受験曲目提出用紙〔声楽専攻〕
 【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）〔外国人留学生〕】

専 攻 等	声 種	受験番号
※		※

選択群	指定記号	作曲者名	作 品 名	曲 名 (原語)	演奏時間
A	イ				
	ロ				

選択群	指定記号	作曲者名	作 品 名	曲 名 (原語)	演奏時間
B	ハ				
	ニ				

選択群	指定記号	作曲者名	作 品 名	曲 名 (原語)	演奏時間
C	ホ				
	ヘ				

- (注) 1. ※印欄は、記入しないこと。
 2. 曲名は、オペラ・アリアの場合、役名及び冒頭の歌詞を原語で記入すること。
 3. 演奏曲は、選択群A, B, C、指定記号(イ・ロ・ハ・ニ・ホ・ヘ)によって指定するので、この用紙のコピーを試験当日持参して、指定された演奏曲を確認すること。
 4. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を声楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
 5. この用紙は、出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

(ふりがな)
氏 名

平成27年度
受験曲目提出用紙
〔ピアノ研究分野〕
【東京藝術大学大学院音楽研究科
（修士課程）〔外国人留学生〕】

研 究 分 野	受 験 番 号
ピ ア ノ	※

◎本冊子に定めたとおりの曲目で、必ず25分以上のプログラムを記入すること。

曲目	作 曲 者 名		曲 名	調 名	演奏時間
(A)					分 秒
(B)	(イ)	Chopin			分 秒
	(ロ)				分 秒
(C)	自由曲				分 秒

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. この用紙は、出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

(ふりがな)
氏 名

平成27年度
受験曲目提出用紙
〔オルガン研究分野〕
【東京藝術大学大学院音楽研究科
(修士課程) [外国人留学生]】

研 究 分 野	受 験 番 号
	※

課題曲 (A)

課題曲	作曲者名	曲 名	調名
(1)	J.S.Bach		
(2)	J.S.Bach		
(3)			

アシスタントの必要の有無 [有 ・ 無] アシスタントは本学が用意する。
 (どちらかに○をつける)

- (注) 1. ※印欄は、記入しないこと。
 2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」をオルガンで受験する者もこの用紙を提出すること。
 3. この用紙は、出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

(ふりがな)
氏 名

平成27年度
受験曲目提出用紙
〔弦楽研究分野〕
【東京藝術大学大学院音楽研究科
(修士課程) [外国人留学生]】

研究分野・楽器名	受験番号
	※

課題曲

課題曲	作曲者名	曲 名
1		
2		

- (注) 1. ※印欄は、記入しないこと。
 2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を弦楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
 3. この用紙は、出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

(ふりがな)
氏 名

平成27年度
受験曲目提出用紙
 [音楽教育研究分野志願者で「楽器等の
 実技試験」をピアノで受験する者]
 【東京藝術大学大学院音楽研究科
 (修士課程) [外国人留学生]】

研 究 分 野	受 験 番 号
音 楽 教 育	※

課題曲	作曲者名	曲 名	調名
(A)			
(B)	Chopin		

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. この用紙は、出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

(ふりがな)
氏 名

平成27年度
声楽専攻

「実技担当教員希望届」

【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）
外国人留学生】

声 種 (S・Ms・A・T・Br・B)	受験番号
	※

●指導を希望する教員名を記入すること。

希 望 教 員 名	第1希望																															
	第2希望																															
	第3希望																															
<p>【参考】平成27年度声楽実技担任教員一覧（予定）</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>佐々木典子</td> <td>平松 英子</td> <td>菅 英三子</td> <td>大島 洋子</td> <td>佐藤ひさら</td> </tr> <tr> <td>島崎 智子</td> <td>日比 啓子</td> <td>三縄みどり</td> <td>萩原 潤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>寺谷千枝子</td> <td>永井 和子</td> <td>青木美稚子</td> <td>中島 郁子</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川上 洋司</td> <td>吉田 浩之</td> <td>櫻田 亮</td> <td>市原 多朗</td> <td>福井 敬</td> </tr> <tr> <td>永田 峰雄</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>福島 明也</td> <td>勝部 太</td> <td>甲斐栄次郎</td> <td>河野 克典</td> <td>長谷川 顕</td> </tr> </table>			佐々木典子	平松 英子	菅 英三子	大島 洋子	佐藤ひさら	島崎 智子	日比 啓子	三縄みどり	萩原 潤		寺谷千枝子	永井 和子	青木美稚子	中島 郁子		川上 洋司	吉田 浩之	櫻田 亮	市原 多朗	福井 敬	永田 峰雄					福島 明也	勝部 太	甲斐栄次郎	河野 克典	長谷川 顕
佐々木典子	平松 英子	菅 英三子	大島 洋子	佐藤ひさら																												
島崎 智子	日比 啓子	三縄みどり	萩原 潤																													
寺谷千枝子	永井 和子	青木美稚子	中島 郁子																													
川上 洋司	吉田 浩之	櫻田 亮	市原 多朗	福井 敬																												
永田 峰雄																																
福島 明也	勝部 太	甲斐栄次郎	河野 克典	長谷川 顕																												

●オペラ講座所属希望の有無を記載すること。（○で囲む）

有	無
---	---

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を声楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
 3. この用紙は、出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

声楽第5講座（オペラ）所属希望者各位

東京藝術大学大学院音楽研究科
声楽第5講座（オペラ）主任

オペラ適性検査に関する伝達事項について（通知）

このことについて、下記のとおり実施しますので、注意事項をよく読んで必ず受験して下さい。

記

- (1) 実施日時： 平成27年2月13日（金）外国人修士（声楽専攻）入学試験終了後実施
- (2) 集合場所： 音楽学部 第1ホール
- (3) 実施場所： 音楽学部 第1ホール
- (4) 課題： 任意のオペラからレチタティーヴォ付きアリアを1曲選び、原語、原調で、また演技付きで演奏をする。

○注意事項

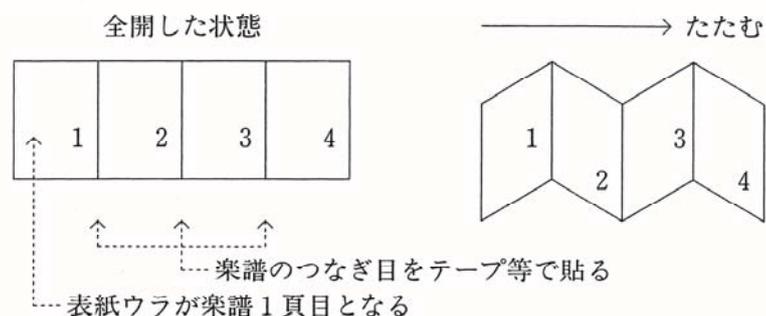
演奏時間は制限しないが、当日試験官による演奏箇所の指定がある。助演は認めない。なお、テーブル・椅子の用意はあるが、小道具については、各自用意の上使用を可とする。

伴奏者用楽譜については、伴奏者が見やすいように1頁A4版のサイズにコピーし、1曲を全開できるように製本したものを提出してください。（下図参照）表紙には、曲名と名前及び声部を明記すること。

伴奏者用楽譜は、平成27年1月30日（金）までに音楽学部教務係に提出すること。

ピアノ伴奏者は**志願者が同伴すること。**

（4頁の楽譜の場合）



- (5) 発表： 所属する講座については、検査終了後郵送で通知する。